

## 補助金等支出明細書

1. 補助金等の名称	平成19年度国立公園等民間活用特定自然環境保全活動事業 (野付半島・野付湾コクガン越冬状況等調査業務)		
2. 事業の目的及び内容	<p>(1) 目的</p> <p>毎年10月中旬頃、野付湾に飛来する天然記念物のコクガンの一部に、道南や本州等への越冬地に渡らず、結氷後の野付湾にとどまり、僅かに結氷を免れた砂嘴先端部付近の湾内で越冬を続けている個体がいることは、一部愛鳥家に知られていたところであるが、平成16、17年越冬期の2シーズンわたるコクガンの越冬状況観察結果が平成18年5月の新聞に報道された。その観察結果によれば、3月末においても800羽を超える数のコクガンが、野付半島の砂嘴先端付近の湾内で確認されるなど、野付半島・野付湾がコクガンの越冬地としての役割を果たしていると思われる状況にある。</p> <p>このため、野付半島・野付湾において、天然記念物のコクガンが一定数越冬している状況にあるとすれば、保護対策を講ずる必要性も生じてくることから平成18年度に、野付半島・野付湾におけるコクガンの越冬状況等について調査を実施し、一定数のコクガン越冬群がいることが確認された。現状についての確に把握するために継続して詳細な調査を行いコクガンの越冬状況を明らかにするとともに、コクガンの主要に餌であるアマモの分析状況についても把握を行うものである。</p> <p>(2) 具体的な内容</p> <p>野付半島・野付湾におけるコクガンの越冬状況を調査するため、コクガンの飛来状況については、飛来の始期と飛来数の経過、分布状況、日周行動(採餌、休息の場等)を越冬状況については、越冬数及び越冬分布状況、日周行動(採餌、休息の場等)を毎週1回程度、現地にて調査を行った。</p> <p>また、コクガンの渡来数と越冬状況、野付湾内のアマモの分布状況について各種文献を調査すると共に地元研究者よりこれまでの生息情報等の実態について聞き取り調査も実施した。</p>		
3. 交付先の公益法人の名称	財団法人 日本鳥類保護連盟		
4. 交付実績額			1,764千円(A)
	(2) 一般管理費	213千円	
	(3) その他の管理費		
		内 容	金 額
			千円
			千円
		合 計	千円
6. 外部への支出	(1) 外部に再補助・再委託等されているものに関する支出		
	支出内容	支出先	金 額
			千円
			千円
	合 計		千円(B)
	(2) (1)以外の支出		
	支出内容	支出先	金 額
	旅費	調査研究員	158千円
	諸謝金	調査研究員	680千円
	賃金	調査研究員補助者	60千円
	借料損料(調査自動車借上げ)	調査研究員	410千円
	印刷製本費	文房具店	19千円
	合 計		1,327千円
7. その他	内 容		金 額
	消費税及び地方消費税		84千円
	合 計		84千円
8. 再補助・再委託等の割合			0%(B/A)